

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札(政府調達)	
契約の件名及び数量	独立行政法人日本芸術文化振興会図書管理システム及び移行業務一式の調達(令和5年3月から60ヶ月間)	
契約締結日	令和4年10月12日	
契約の相手方の商号又は名称等	京セラコミュニケーションシステム株式会社	
入札経緯及び結果	令和4年6月27日 入札公告	
	令和4年8月17日 競争参加申請書類提出〆切 令和4年9月6日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、令和5年度は176日間確保した。
③公告期間の見直し	○	「政府調達手続に関する運用指針」に基づき50日以上とし、令和5年度は50日間。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	1者に聴き取り。
回答内容		(参加しなかった理由) 現行データの移行業務に必要なデータベース情報を得るための作業は、競争参加者のみでは困難であり、参加者の自己負担により、有償で現行保守業者に依頼するリスクがあるため。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き、業界の状況を調査しつつ、仕様書の見直し及び改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
応札の可能性が考えられる企業に対する周知の努力を継続するほか、適切な改善措置を検討すること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
業界の状況を調査しつつ、仕様内容を精査し、より参加しやすい方法を検討する。 応札の可能性のある業者への声掛け等により、一層の周知を図る。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
石山恵一委員、黒石陽子委員、千葉尚路委員、藤川裕紀子委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	2	
入札及び契約方式	一般競争入札(政府調達)	
契約の件名及び数量	独立行政法人日本芸術文化振興会文化デジタルライブラリーシステムの調達(令和5年11月から60ヶ月間)	
契約締結日	令和4年11月21日	
契約の相手方の商号又は名称等	東京コンピュータサービス株式会社/東京センチュリー株式会社	
入札経緯及び結果	令和4年8月24日 入札公告	
	令和4年10月14日 競争参加申請書類提出〆切 令和4年11月4日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、令和5年度は362日間確保した。
③公告期間の見直し	○	「政府調達手続に関する運用指針」に基づき50日以上とし、令和5年度は50日間。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	×	
回答内容	/	
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き、業界の状況を調査しつつ、改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
応札の可能性が考えられる企業に対する周知の努力を継続すること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
業者等からの聴き取りを行い、業界の状況を調査しつつ、仕様内容を精査し、より参加しやすい方法を検討する。応札の可能性のある業者への声掛け等により、一層の周知を図る。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
石山恵一委員、黒石陽子委員、千葉尚路委員、藤川裕紀子委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	3	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	令和5年度Azure AD Connect等保守業務	
契約締結日	令和5年3月7日	
契約の相手方の商号又は名称等	リコージャパン株式会社	
入札経緯及び結果	令和5年2月2日 入札公告 令和5年2月21日 競争参加申請書類提出×切 令和5年3月2日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、令和5年度は30日間確保した。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、令和5年度は 19 日間 13営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	1者に聴き取り。
回答内容		(参加しなかった理由) 他社が構築したサーバーの保守業務への参入は、コストのうえで著しく不利なため。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
公告期間を早め、準備期間を確保するとともに、必要な情報提供を行うなど、参加しやすい方法を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善する方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
公告時期を早め、十分な準備期間を確保するとともに、仕様内容を精査し、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
石山恵一委員、黒石陽子委員、千葉尚路委員、藤川裕紀子委員		

(注) 1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注) 2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注) 3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	4	
入札及び契約方式	一般競争入札(総合評価落札方式)	
契約の件名及び数量	令和5年度国立劇場チケット電話予約受付等業務及び会員事務局業務	
契約締結日	令和5年3月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	パーソルテンプスタッフ株式会社	
入札経緯及び結果	令和4年12月15日 入札公告	
	令和5年1月26日 競争参加申請書類提出〆切	
	令和5年2月14日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、令和5年度は46日間確保した。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、令和5年度は 42 日間 25営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	1者に聴き取り。
回答内容		(参加しなかった理由) 人材確保の必要があるため、1年間という短期間の契約では競争参加が困難である。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
国立劇場等再整備事業との関係性を踏まえ、調達方法の適切な措置等改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善する方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
適正な契約期間を検討するとともに、調達方法を精査し、より公平性の高い方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
石山恵一委員、黒石陽子委員、千葉尚路委員、藤川裕紀子委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	5	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	令和5年度公演記録映像収録等業務(本館・演芸場)	
契約締結日	令和5年3月17日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社アニキ	
入札経緯及び結果	令和5年2月13日 入札公告	
	令和5年3月7日 競争参加申請書類提出〆切	
	令和5年3月14日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	×	業務等に必要の準備期間の目標を概ね1ヶ月以上としたが、令和5年度は18日間の確保であった。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、令和5年度は 22 日間 15営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	1者に聴き取り。
回答内容		(参加しなかった理由) ・古典芸能を撮影した経験のあるカメラマンの確保が困難である。 ・過去の契約実績を確認すると、古典芸能を撮影するという専門性のある業務に見合う金額ではないため。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
公告期間を早め、準備期間を確保するとともに、国立劇場等再整備事業との関係性、代替劇場での業務となる状況を踏まえた改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
公告期間を早め、改善する方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
公告時期を早め、十分な準備期間を確保するとともに、仕様内容を精査し、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
石山恵一委員、黒石陽子委員、千葉尚路委員、藤川裕紀子委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	6	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	令和5年度公演記録音声収録等業務(本館・演芸場)	
契約締結日	令和5年3月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社パシフィックアートセンター	
入札経緯及び結果	令和5年2月10日 入札公告	
	令和5年3月6日 競争参加申請書類提出〆切	
	令和5年3月13日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	×	業務等に必要の準備期間の目標を概ね1ヶ月以上としたが、令和5年度は19日間の確保であった。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、令和5年度は 24 日間 15営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	1者に聴き取り。
回答内容		(参加しなかった理由) 収録のため、舞台周りに機材を設置する必要があるが、舞台の現場に慣れていない業者は、参加しにくい。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
公告期間を早め、準備期間を確保するとともに、国立劇場等再整備事業との関係性、代替劇場での業務となる状況を踏まえた改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善する方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
公告時期を早め、十分な準備期間を確保するとともに、仕様内容を精査し、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
石山恵一委員、黒石陽子委員、千葉尚路委員、藤川裕紀子委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	7	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	令和5年度国立文楽劇場構内で使用するガスの調達	
契約締結日	令和4年12月2日	
契約の相手方の商号又は名称等	大阪瓦斯株式会社	
入札経緯及び結果	令和4年10月17日 入札公告	
	令和4年11月17日 競争参加申請書類提出〆切	
	令和4年11月24日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、令和5年度は128日間確保した。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、令和5年度は 31 日間 22営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	1者に聴き取り。
回答内容		(参加しなかった理由) 原料価格の高騰および世界情勢が不安定な状況から、価格の動向が読めないため、入札は一律参加していない。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き、業界の状況を調査しつつ、改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
応札の可能性が考えられる企業に対する周知の努力を継続すること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
業界の状況を調査しつつ、仕様内容を精査し、より参加しやすい方法を検討する。 応札の可能性のある業者への声掛け等により、一層の周知を図る。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
石山恵一委員、黒石陽子委員、千葉尚路委員、藤川裕紀子委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	8	
入札及び契約方式	プロポーザル	
契約の件名及び数量	令和5年度「日本博2.0」開催に係る効果検証業務	
契約締結日	令和5年4月20日	
契約の相手方の商号又は名称等	一般社団法人芸術と創造	
入札経緯及び結果	令和5年2月20日 手続開始公示	
	令和5年3月22日 企画提案書類提出〆切	
	令和5年3月31日 選定委員会結果通知	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	×	業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上としたが、令和5年度は20日間の確保であった。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から20営業日以上とし、令和5年度は 30 日間 20営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	1者に聴き取り。
回答内容		(参加しなかった理由) プロモーション的な要素が自社の主事業のため、そうした側面を中心とする効果分析業務であれば参加を検討できる可能性がある。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き、業界の状況を調査しつつ、改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
応札の可能性が考えられる企業に対する周知の努力を継続すること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
業界の状況調査、仕様内容の精査、一層の周知を図ることを継続するとともに、より効果的な事業実施、業務の継続性、経済的合理性の観点などを踏まえた適切な契約形態を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
石山恵一委員、黒石陽子委員、千葉尚路委員、藤川裕紀子委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。